

一日一篇 みことばを聴こう

6月1日(水) 詩篇 第51篇

- 1、主は罪人が罪のゆえに滅びるのを喜ばれる御方でしょうか(エゼキエル18章23節参照)。主は悔い改めたダビデにどんなことをしてくださる御方なのでしょうか。
- 2、ダビデの祈りの中から、ダビデの悔い改めのしるしを書き出してみてください。
- 3、あなたもこのような悔い改めをしたことがありますか。

6月5日(日) 詩篇 第55篇

- 1、主は、主に叫び訴える者をどうされる御方でしょうか。敵のいるところから彼を逃れさせられたのでしょうか。敵のただ中で救われたのでしょうか。
- 2、この詩人が問題に直面したときの反応を順を追って調べてみましょう。うめき、逃避の願望、訴え、信頼、人々への勧め、信仰の告白を具体的に跡づけてみてください。
- 3、あなたの苦しみに主は今日どう語っていますか。

6月2日(木) 詩篇 第52篇

- 1、神はどんな人を憎み、さばき、どんな人を祝福される御方ですか。
- 2、悪者の舌はどんな舌で、その結果どんなさばきを受けますか。正しい人はどんな生活を送り、どんな祝福をいただきますか。
- 3、あなたの舌はどんなことを語っていますか。

6月6日(月) 詩篇 第56篇

- 1、私たちはよく自分の苦しみや悲しみを誰も理解してくれないと思うことがあります。私たちの神は、どの程度それを御存知でしょうか。
- 2、この詩人が苦しみの中から主を賛美するに至った過程を一つ一つあとづけてみましょう。
- 3、今日なんども繰り返して唱えたい御言葉は何ですか。

6月3日(金) 詩篇 第53篇

- 1、「神はいない。」という者を神はどうされますか。神を信じる御民を主はどうされるでしょうか。
- 2、すべての罪と汚れの原因は何で、結果は何でしょうか。
- 3、主はあなたにも目を注いでおられます。主は今日どんな目であなたを見つめておられるでしょうか。

6月7日(火) 詩篇 第57篇

- 1、この詩人がその御翼のかげに身を避けた神はどんな神ですか。
- 2、苦難に出会った詩人が主にたいしてしたこと全部あげてください。
- 3、あなたは苦しみにあったときまず何をしますか。苦しみから解き放されたとき、まずすることは何でしょうか。

6月8日(水) 詩篇 第58篇

- 1、不正な支配者、悪人たちが主がどうされるようにこの詩人は祈っていますか。
- 2、地上の悪を見てこの詩人は神に何をし、悪人になんか態度をとったのでしょうか。新約時代にいる私たちは彼の態度から何を学び、何を反省するべきでしょうか。
- 3、あなたは自分にたいする悪に直面したときいつもどうしていますか。

6月4日(土) 詩篇 第54篇

- 1、苦難の中から主に助けを求める者に主はどうお答くださる御方ですか。あなたの日々の歩みの中でもこのことを経験していますか。
- 2、苦難の中でこの詩人主には何を求め、何を告白しましたか。彼の祈りの中の願いと訴えと告白と感謝と賛美を書き出してみてください。
- 3、今日、特に教えられたことは何でしょうか。

6月9日(木) 詩篇 第59篇

- 1、いわれのない攻撃を受けている詩人の訴えに主はどんな御方として御自身をあらわしておられますか。
- 2、この詩人は敵からいわれのない攻撃を受けたときどうしましたか。
- 3、主は今日、あなたにどうするように求めているのでしょうか。

6月10日(金) 詩篇 第60篇

- 1、主はイスラエルから御顔をそむけられたようですが、いつまでもそむけられたのでしょうか。
- 2、主に拒まれたと思ったとき、この詩人は主にどんな態度をとりましたか。反抗して立ち去ったのでしょうか。泣きわめいてすがりついたのでしょうか。
- 3、主がお答えくださらないように思えるときあなたは どうするのでしょうか。

6月11日(土) 詩篇 第61篇

- 1、この詩人にとって、神はどんな方として御自身をあらわされましたか。神は何をしてくださる御方ですか。あなたにとって主はどんな御方でしょうか。
- 2、この詩人はどんな状況の中で主に呼ばわったのでしょうか。心が衰え果てて祈ることもできないような状態に陥ったとき、あなたは どうしますか。
- 3、主はあなたの祈りに今日どのように答えてくださいましたか。

6月12日(日) 詩篇 第62篇

- 1、主は苦しみの中にあるこの詩人にとってどんな御方ですか。私にとってはどんな御方でしょうか。
- 2、苦しみの中にあるこの詩人の主にたいする態度からどんなことを学びますか。イスラエル、シリア連合軍のユダ侵攻を前にしたアハズ王の姿勢と比べてみましょう(イザヤ7章1〜4、歴代誌第二25章1〜5、16〜25節)。
- 3、2、迄で問い掛けはありません。

6月13日(月) 詩篇 第63篇

- 1、この詩で主は詩人にとってどんな御方であるとうたわれていますか。
- 2、この詩人が主をほめうたった表現を全部書き出してください。詩人はどれほどの愛と信頼を云いあらわしているのでしょうか。
- 3、あなたは今日、主をどのように賛美しますか。

6月14日(火) 詩篇 第64篇

- 1、主は誰にもわからぬように悪事をたくらむ者にどうされる御方でしょうか。それは何のためでしょうか。
- 2、この詩人は、ひそかな敵の攻撃を受けたときどうしましたか。そしてどんな信仰に導かれましたか。
- 3、あなたは何か凝っていないのでしょうか。それについて今日、主は何を語ってくださいましたか。

6月15日(水) 詩篇 第65篇

- 1、この詩は1〜4、5〜8、9〜13節の三つの部分に分れますが、それぞれの部分で神はどのように示されていますか。
- 2、この詩人は自分の咎に圧倒されながら神にどうしたのでしょうか。また自然の支配者、収穫の主なる神に何をささげましたか。
- 3、神は今日、特にどのような神としてあなたに御自身を示してくださいましたか。

6月16日(木) 詩篇 第66篇

- 1、神はイスラエルの神であり、同時に私自身の神であることをどのように示されましたか。
- 2、この詩人は何故「私たち」といい、また「私」といつているのでしょうか。このことから、私たちは神さまをどんな御方と考えるべきでしょうか。
- 3、神さまは今日、あなたにどのような神さまの御姿を示されましたか。

6月17日(金) 詩篇 第67篇

- 1、神はどの範囲の人々を支配し、導いておられる御方ですか。神さまが神の民を祝福されるのは何のためですか。

- 2、この詩人が祝福を求めたのは何のためでしたか。ここから私たちの祝福を求めるときの姿勢についてどんなことを教えられますか。
- 3、主は今日あなたにどんなことを語ってくださいましたか。

6月18日(土) 詩篇 第68篇

- 1、神のしてくださったことを一つ一つあげてみましょう。「神」ということばにつけられた形容詞を全部書きだしてみましよう。そこから私たちの神がどんな御方であるか考えてみましょう。
- 2、この詩人の祈りと願い、賛美をノートに書きだし、詩人の信仰について考えてみましょう。
- 3、主は今日あなたにどんな御方として御自身を示してくださいましたか。

6月19日(日) 詩篇 第69篇

- 1、神を愛し、そのために人々のそしりを受け(7節)、兄弟にうらまれ(8節)、神をそしる者にいたげられ(9節)、人々の笑いものにされた(11節)この詩人の経験はどなたを指し示しているでしょうか。
- 2、この苦しみの中で詩人はどうしましたか(13節)。彼の態度からどんなことを学びますか。
- 3、特に今日こころにとまる御言葉は何でしょうか。

6月20日(月) 詩篇 第70篇

- 1、この詩人は、主が彼にとってどんな御方であると信じていましたか。
- 2、この詩人の祈りはどんな要素から成り立っていますか。
- 3、4節を瞑想しましょう。

6月21日(火) 詩篇 第71篇

- 1、この詩人にとって、主は過去に何をしてくださった御方であり、今と後に何をしてくださる御方ですか。

- 2、この詩人はいつ主を賛美しましたか。順調な時だけですか、今だけですか。
- 3、主は私に今なにをしてほしいと願っておられると思いますか。

6月22日(水) 詩篇 第72篇

- 1、この王は誰をどのように治めますか。そして王の支配の範囲はどこまで及びますか。この王は誰だと思いますか。
- 2、民がこの王にささげたものを一つ一つあげてみましょう。
- 3、今日、主が特にあなたに語ってくださったことは何でしょうか。

6月23日(木) ガラテヤ人への手紙 第1章

- 1、だれがパウロを使徒に任じられましたか(1、15、16節)。どんな福音を示されましたか(4、11、12節)。それなら、エルサレム教会の権威をもって、パウロは十二使徒に属しないからといってその使徒職と福音を否定できるといえるでしょうか。
- 2、パウロは、神さまから福音を示され、使徒職に任じられたとき、何によってそれを確信したのですか(16、17節)。ひとりよがりにならないよう、どうしましたか(18、19節)。
- 3、あなたは静思のときに人によらず、直接聖書から主の導きを得、ひとりよがりにならないよう、コイノニアでその祝福を分かち合って歩んでいますか。

6月24日(金) ガラテヤ人への手紙 第2章

- 1、1〜10節を使徒15章と読みくらべてみましょう。福音の真理が危うくされたとき、主はどのようなしてその真理を守らせられましたか(2、7、9節、使徒15章7、13、22節)。
- 2、律法の行いによるのか、キリスト・イエスに対する信仰によるのかという福音の真理が問題にされたとき、パウロはどのようにして福音を守りましたか(2、5、11、14節)。
- 3、あなたは19、20節のパウロの告白を自分の告白としてアーメンと言えますか。

6月25日(土) ガラテヤ人への手紙 第3章

- 1、私たちの救いは何に基づいていますか(16〜18節)。それなら私たちが律法の行いによって左右されるところがありますか(17、18節)。私たちの救いは何によって与えられるのですか(13、14節)。私たちは何を通してそれを受けるのですか(2、5、6、11、14、22、24、26節)。
- 2、律法の行ないによって救われようとする者はどんな立場にいますか(10、12、23節)。信仰による者はどんな立場にいますか(7、9節)。

- 3、あなたは自分が神の子だと告白できますか(26節)。

6月26日(日) ガラテヤ人への手紙 第4章

- 1、私たちが神の子、相続人となるために神さまはどんなことをしてくださいましたか(1〜7節)。キリストはそこでどんなみ業を行われしましたか(4節)。御霊は私たちにどんなことをさせて下さいますか(6節)。

- 2、私たちはどんなときに自由を得、どんなときに縛られるのですか(5、6、9、19、22〜25、26、28節)。

- 3、あなたは自由ですか、何かの奴隷になっていますか。

6月27日(月) ガラテヤ人への手紙 第5章

- 1、イエス・キリストは私たちを何から解放し私たちに何を与えてくださいましたか(1、5、13節)。私たちが御霊に従って歩むとき、御霊は私たちのうちにどんな実を結んでくださいますか(16〜26節)。神さまは人をキリストから引き離す者をどうされますか(10節)。
- 2、キリストにある自由を与えられた者にとって大切なことは何ですか(1、6、13、16、25節)。

- 3、あなたはキリストにつく者ですか。それならまずどんなことを認めるべきですか(24節)。どのように生きるべきですか。

6月28日(火) ガラテヤ人への手紙 第6章

- 1、クリスチャンとこの世とはどんな関係にありますか。その両者を分かつものは何ですか(14、15節)。

- 2、ガラテヤ人のことをパウロは何と言いましたか(1節)。そのような者として、彼らはどうのように生きることが必要でしたか(1〜6、9、10節)。なぜですか(7、8節)。

- 3、あなたはいつも「イエスの焼き印」を身に帯びていますか。

6月29日(水) エペソ人への手紙 第1章

- 1、父なる神は教会にどんな恵みを与えてくださいましたか(3〜6節)。子なる神キリストが与えてくださった祝福は何ですか(7〜12節)。聖霊なる神の与えてくださった祝福は何ですか(13、14節)。キリストはどんなお方ですか(20〜23節)。

- 2、神の恵みを受けた者の究極の目的は何ですか(3、6、12、14節)。そのために神を知る知恵と啓示の御霊を祈り求めて、何を知るべきでしょうか(17、18、19節)。

- 3、あなたの人生究極の目的は何ですか。

6月30日(木) エペソ人への手紙 第2章

- 1、神さまは、どんな人間を(1〜3節)、何のゆえに(4、5節)、どのようにして(5、6、8節)、救われましたか。何のためですか(7、10節)。キリストは、どんな人たちに(11、12、13節)、何によって(15、16節)、何を与えられましたか(14、15節)。何のためですか(16節)。御霊は何をしてくださいますか(18、22節)。

- 2、神の救いにあずかった者はどんな歩みをすべきですか(10節)。神の平和を与えられた者お互いはどんな者と認め合うべきですか(19節)。

- 3、あなたは神の御住まいの一部であることを確信していますか。建物全体の成長を求めていますか。